



# 門田 淳 議員 … 5 件の一般質問

## 高校卒業まで医療費を無料にする考えは

町長：現段階での拡大は難しい

**門田** ①中学校卒業までの医療費を公約どおりに無料にしたが、高校卒業までの医療費を無料にする考えはないか。

**町長** ②明るい未来に向かう若い世代への子育て支援、住宅支援予算を多く配分し定住人口増加施策を。

**町長** ①町独自の財政出動が必要なので、

本町の保健福祉施策の検証並びに財源と実績を見きわめなければならぬ。現段階での拡大は難しい。②現在は、民間賃貸住宅の家賃相場が高いとの声が多く、また、希望する住宅を探すことができないため、町外に居住しながら本町に通勤する方が見られる。

町外からの定住希望者も含め、移設が決まっている給食センターや保育所跡地などを活用した町有地の分譲を取得しやすい制度も検討しながら取り進めることで、定住人口や消費の増加につなげ、若い世代が生き生きと働き、子育てが楽しいまちづくりに取り組みしていきたい。

**門田** 若い世代の家賃補助に関して、来年度予算に向けて、今後検討できないか。

**町長** 家賃が高いと若い人が住めないというところであるので、若い人が住める環境の家賃補助など、十分それら含めて検討していきたい。

**新幹線整備に関わる町有地の活用**

**門田** 14年後の札幌までの延伸、俱知安駅の開業を見通したまちづくりで、今後、新幹線建設のために移転を余儀なくされる方々が多数いる中で、町内への移住を進めるための具体策について。

①町内への移住を進めるための具体策について。  
②旧胆振線跡地活用の考えは。  
③高齢者住宅施策はどうするのか。

**町長** ①新幹線の建設に当たり、市街地を中心に数十件程度の住宅において移転が必要になるものと推定しており、新幹線まちづくり検討委員会や都市マスタープラン

ンを含む各種計画との整合を図り、遅れを生じないよう手法についても検討していく。  
②まちづくり計画との整合を図るため、今年度より作業を開始した計画の見直しなど、委員会や協議会の議論を通して検討したい。  
③北海道新幹線建設において、移転対象となる方々については、特例により、町営住宅への優先入居ができることから、早い段階で全対象者の把握や住みかえの意向などを確認し、住宅の確保を行っていきたい。



旧胆振線跡地

**門田** 新幹線の建設が進んでいる以上、整備新幹線問題の焦点は、いかにメリットを最大化し、デメリットを最小化して、今後出てくる地元負担に見合った効果を得るかという課題に尽きると思う。

**門田** ①職員住宅の現時点での入居率は何か。  
②職員住宅について

解決すべき問題を明らかにし、適切な施設や事業との連携の議論を進めてほしい。

**教育長** ①町内の教職員住宅は全部で51戸あり、43戸が入居している。入居率は84.3%という状況になっている。②51戸中37戸の住宅が耐用年数を経過していることになり、現状の把握と改修の規模、改修費用などを改めて精査し、状況によっては取り壊しなども視野に入れながら、これから検討していきたい。③入居する教職員のニーズや住宅の現状把握を行っているが、本町における教職員住宅のあり方、整備の方向性などについて検討していきたい。

\*その他に「行政改革について」と「ふるさと納税に関して」の質問をしました。